

## 職員の給与に関する条例改正概要

### 1 条例改正に向けた対応

職員組合との労使交渉を経て、当町の給与について人事院勧告に基づき、改正するもの。

### 2 給与改定人事院勧告の内容

#### (1) 期末・勤勉手当

○民間のボーナス支給割合との均衡を図るため、年間支給月を 0.15 月分減額

(民間の支給割合 4.32 月【公務員の支給月数 4.45 月】)

○民間の支給状況等を踏まえ、令和 3 年度期末手当の支給月数に反映

【職員 年間 4. 4 5 か月分⇒4. 3 か月分】

| 年 度                 | 6 月期                          | 1 2 月期                                |
|---------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 令和 3 年度期末手当<br>勤勉手当 | 1.275 月 (支給済)<br>0.95 月 (支給済) | 1.125 月 (現行 1.275 月)<br>0.95 月 (改定なし) |
| 令和 4 年度期末手当<br>勤勉手当 | 1.20 月<br>0.95 月              | 1.20 月<br>0.95 月                      |

#### (2) 実施時期

令和 3 年度 1 2 月期の期末手当に、0.15 月分の減額を反映させる。